

10 ご高齢で介護が必要になった方の、インプラント管理にご注意ください！！

インプラントは虫歯にはなりません、歯周病にはなりません。
これを「インプラント周囲炎」といいます。

仮に、あなたが歯を失った原因が歯周病だったとしたら、インプラントを施術したとしても、インプラント周囲炎になる確率が高いことが予測されます。
(詳しくは0.6を参照)

インプラント周囲炎は何の自覚症状もなく始まり、一度発症してしまうと治りません。
最終的にはインプラントを失うこととなりますので、インプラント施術後は、定期的なメンテナンス、予防の継続が欠かせません。

ところがインプラント施術を受けていて、ご高齢で介護が必要になった方は、定期的に歯医者さんに来院することが難しくなります。
そうした場合、インプラント周囲炎を発症し、歯周病による細菌感染から、全身における疾患を発症する恐れがあります。
耳にされたことがあるかもしれませんが、「誤嚥性肺炎(ごえんせいはいえん)」は多く見られる症例です。

介護される方も、介護する方も、このことをよく覚えていただき、適切な処置をしていただきたいと思います。
必要性、可能性によっては、インプラント周囲炎を防ぐために、インプラントを歯肉の下に留置する、もしくは取り除く方法も考えなければいけないかもしれません。

どうか、インプラントを役立てて、美味しく食べて、心も身体も元気に、足腰の運動を兼ねて、定期健診に来院いただきたいと思います。